

打ち水大作戦2018



暑い日は打ち水で、
楽しく涼しくすごそう！

日時：平成30年8月9日（木）16時～16時30分
会場：大日駅前バスターミナル付近
（国道1号大日交差点付近）
主催：琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会
《国土交通省 近畿地方整備局》

★打ち水のポイント★
※打ち水とは、直先や道路に水をまくことにより、地表の気温を下げ、夏の暑さを和らげようとする江戸時代から継承される日本人の生活の知恵です。
※打ち水大作戦では、雨水や風呂の残り湯など一度使った水を使うのがルールです。

【日時】平成30年8月9日(木) 16:00～16:30

【場所】大日駅前バスターミナル付近
（国道1号大日交差点付近）

【目的】琵琶湖・淀川流域圏再生の取り組みの一環として、地元・沿道企業の皆さん方と水に触れ水を大切にする心を継ぐために、「打ち水大作戦」を行いました。

【参加者】沿道企業のイオン大日店、レクサス守口店、大阪トヨペット守口店、トヨタカローラ守口店、ネットヨタ大阪守口店、大阪モノレールサービス(株)、守口市役所、淀川河川公園管理センター、大阪国道事務所、整備局の呼びかけに応じ参加を頂いた皆様と近畿地方整備局の総勢約120名

「打ち水」結果

打ち水開始前：**34.9℃**

打ち水直後：**33.6℃**

打ち水15分後：**32.6℃**

「打ち水」のポイント

打ち水とは、庭先や道路に水をまくことにより、地表の気温を下げて、夏の暑さを和らげようとする江戸時代から継承される日本人の生活の知恵です。

打ち水大作戦には、雨水や風呂の残り湯など一度使った水を使うのがルールです。

今回は大阪府東部流域下水道事務所・なわて水みらいセンターのご協力のもと、下水高度処理水を使用いたしました。

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会での行動

協議会では、流域圏を健全な姿に再生して次世代に継承するため、「水でつなぐ“人・自然・文化”」を基本コンセプトに、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画に基づいて流域圏の関係機関や住民団体等が連携して具体的な行動を展開しています。

